

KIBOKO

木這子 Bulletin of the Tohoku University Library Vol.39, No.3



▶本館玄関付近

東北大学附属図書館本館のリニューアルオープンについて

東北大学附属図書館長 植木 俊哉

東北大学附属図書館は、明治44年(1911年)の創設以来、我が国を代表する貴重な研究資料等を有する学術拠点として、東北大学の学生・教職員の教育研究活動を支え、東北大学の発展と日本の学術研究の進展に寄与してまいりました。川内地区に所在する現在の附属図書館本館も、本学全体の「知の拠点」として、これまでさまざまなニーズに対応した新たな取り組みを行い発展してまいりましたが、このたび昭和48年(1973年)の開館以来初めてとなる全面リニューアルを実施し、本年10月1日にリニューアルオープンすることとなりました。

今回の本館の全面改修では、①従来の事務室エリアを縮小して学生の自発的学習に利用できるラーニングコモンズ・エリアを拡大し、特に国際化に対応したグローバルフロアを新設、②地下書庫の完全電動集密化により、収蔵可能冊数が約40万冊増加し約190万冊に拡大、③開館時間のさらなる延長に対応し得る施設の整備、④館内の空調設備等の省エネ化対応、などを実現し、より快適で先進的な教育学習環境を整備いたしました。また、本館1階にはカフェや展示ギャラリー等も新設し、川内地区の「知の拠点」にふさわしい環境を整備する予定です。間もなく仙台市の地下鉄東西線が開通すれば、川内地区は仙台市中心部と直結された教育文化ゾーンとなることが想定されますが、東北大学附属図書館は川内地区を代表する本学の学術拠点として、重要な役割を担うこととなります。

このたびリニューアルオープンする附属図書館本館を東北大学の学生と教職員の皆様がこれまで以上に利用していただき、学習や教育、研究等に最大限活用していただきますことを心より念願しております。東北大学附属図書館は、本学の教育研究のさらなる発展のため今後とも努力と改善を重ねていく所存ですので、引き続き何卒よろしくご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



本館リニューアル記念号

Contents

東北大学附属図書館本館のリニューアルオープンについて

TOPICS

- 本館1号館 全面リニューアル!

2

Information

- その他のリニューアルエリア
- 全学教育授業開講

4

4

本館1号館 全面リニューアル！

築40年で老朽化した1号館を、このたび全面リニューアルしました。

グローバルフロアの新設、グループ学習室の新設で、グローバル人材・留学生支援の強化およびラーニング commonsの拡充を図りました。グループディスカッションできるエリアだけではなく、静かに集中できるエリアも充実させることで、様々な学習シーンに応じた使い分けが可能となりました。また、学生閲覧室と地下書庫の書架もリニューアルし、収蔵力のアップを図ったほか、省エネ空調設備により快適な学習環境も実現しました。

新しく生まれ変わった図書館を、ぜひご活用ください。

2F グローバルフロア

グローバル学習室

外国人学生と日本人学生の共修・自主的な活動を支援する場です。
約100席ある机や椅子を自由に動かし、留学準備、語学学習、国際交流イベントなどを行うことができます。1人でもグループでも、声を出しての外国語の練習も可能です。学習室をスライディングウォールで半分に仕切れることも可能です。
また、ここでは、留学生コンシェルジュが学習や活動のサポートを行います。



▶英語多読リーダーズ、留学生向け資料、留学情報資料があります。

ラウンジ

メインフロアとグローバルフロアをつなぐラウンジには、飲み物、パンの自販機があり、談話しながらの飲食が可能です。



グループ学習室

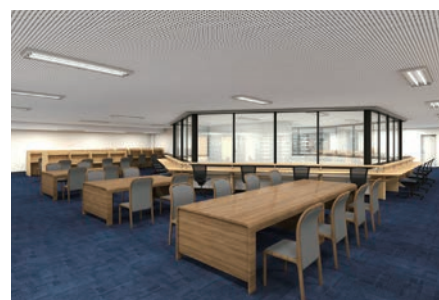
グループ学習できる個室です。壁面にはホワイトボードも設置され勉強やディスカッションなどさまざまな用途に対応します。

予約制



グローバル資料室

国連・EU資料、震災ライブラリーが並びます。1人用の机、カウンター席、資料を広げられる机など、約100席の閲覧席があり、静寂エリアとなっています。



研究個室

院生・教員が利用できる個室を4室備えました。

予約制



1F メインフロア

エントランス

エントランスには、受付、常設展示コーナーなどがあります。入口を入って左奥の多目的室は、講演会・講習会や展示会のほか、試験期には学習室として提供します。



Information

その他のリニューアルエリア

1) 学生閲覧室(1階、2階)

増加する資料に対応できるよう、新たな書架を導入しました。収容冊数は約17万冊から約20万冊へと増加。色合いも白を基調とし、明るい雰囲気となりました。

地震への対策も行っています。書架の上部3段は揺れを感じた際、内側へ傾く仕組みとなっており、資料の落下を防ぎます。

1階には文庫・新書と大型本が、2階には学生用資料、調べ物のための参考資料、学生おすすめの図書、東北大ゆかりの図書が並びます。



2) 地下書庫

研究書を多く所蔵する本館では、地下書庫の狭隘化が長年の課題となっていました。今回、南側書庫に電動集密書架が導入され、より多くの資料を収蔵できるようになりました。あわせて大型資料のための書架も導入し、以前より資料を見つけやすい書庫となりました。



空調設備

老朽化していた空調設備や照明設備のリニューアルを行いました。窓も取り替えたことで省力的に空調管理が行えるようになり、図書館全域がより快適な学習活動の場となりました。

全学教育授業開講

■ 全学教育科目「『レポート力』アップのための情報探索入門」開講 (2セメ・木曜日・5時限目・川北講義棟A106教室／附属図書館本館メインフロア)

今年度も、10月2日(木)から全学教育科目「『レポート力』アップのための情報探索入門」を開講します。この科目では、講義と実習を通じて、レポートの作成法とそれに欠かせない文献・情報調査法の基礎を学びます。また、授業時間外にも、図書館内に設置予定のTAが担当する「サポートデスク」で、レポート作成や文献調査について相談する事ができます。

皆さんもぜひこの授業で「レポート力」アップを目指してください。

詳しい内容は、図書館ウェブサイトの「『レポート力』アップのための情報探索入門」(http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/supp/index.php?cat_id=5)をご覧ください。



▶ 昨年度の授業風景(グループディスカッション)



受講した
先輩の声

- レポート作成法の基礎を知ることができて良かったです。この授業をとらなかったらずっと知らないままだったかもしれません。
- 様々な点で自分のレポートを見直し、改善できる良い機会を得られた。社会に出て必要となるスキルを身につけられたと思う。
- 授業全体の構成も、各回の内容もしっかりしていて、いい授業だったと思います。資料もよく作られていてとても参考になりました。受講して良かったです。また、様々な分野の先生の授業が受けられたのも良かったです。

はぎのすけのつぶやき

「東北大学附属図書館イメージキャラクターのはぎのすけです。皆さんの快適な学習環境をおたすけいたします。どうぞよろしくおねがいいたします。」



Tohoku Univ. Library
@hagi_no_suke

東北大学附属図書館のツイッター公式アカウントです。東北大学生の学習と生活のためにつぶやきます。
http://twilog.org/hagi_no_suke
Sendai, Miyagi, JAPAN